ふたば花見が丘だより６月号(2025)

園舎内に響いていた泣き声も、だんだん小さく、時間も短くなりました。
カラー帽子をかぶり、「いってきます！」と園庭に飛び出していきます。ホールでは、車やバイクに乗ったり、おままごとをしたり、元気に遊んでいます。

先日、子どもたちの大好きな車や電車、動物などの写真がたくさんのった図鑑を園長先生に買って頂きました。子どもたちは、大喜び‼本を広げると、ニョキニョキと多くの頭が本をのぞいてきます。もう一回、もう一回と何度も繰り返し見ています。あまりに大人気なので、増冊をお願いしました。恐竜が大好きなお友だちは、「恐竜の本貸してください」と事務室に。「どうぞ！」と差し出すと、満面の笑み。次の行動になかなか移れなかったお友だちも、「～したら、電車を見よう‼」と声をかけると動き出します。子どもたちは、本が大好きです。まだ、文字が読めない子どもたちにも、見るだけで楽しめる図鑑は大ヒットでした。

暑くなってきました。気温が30℃を超えるような暑い日は、半袖Ｔシャツ１枚で十分です。真夏日に肌着を重ね着すると熱がこもりやすくなってしまいます。
これから夏にかけてかかりやすい感染症に、とびひ、咽頭結膜炎（プール熱）、ヘルパンギーナ、手足口病、などがあります。
とびひは、すり傷や虫刺され、湿疹などの傷、アトピー性皮膚炎などがあり、抵抗力が落ちている時に感染しやすくなります。感染力が非常に強く、接触感染です。
また、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病は、いずれも口内炎ができやすく、治るのに解熱後数日かかることが多いようです。口内炎があると痛みで思うように食事がとれず、つらいものです。
できれば、口内炎が治ってから登園する方が、体力の回復も早まりますので、ご協力をお願いします。

子どもは、泣くことで自分の内面の感情を周囲に伝えます。0,1 歳は、生理的な不快感などが理由で泣くことがほとんどですが、2,3 歳になってくると、言葉が未熟なために思いを伝えられず、泣くことが増えます。自己表現やコミュニケーションの基礎になるのが泣くという行動であり、泣いて感情を発散し、その後に気持ちを立て直していく経験から、自己コントロール力や自立心、たくましさが育っていくそうです。子どもがさまざまな感情を体験しながらも、それを成長につなげていけるように、子どもの心に寄り添っていきたいと思います。

６月の行事

12 日　歯科検診
14 日　保育参観
※保護者総会は、7/5（土）です
26 日　お誕生会

♫ながぐつマーチ

1 ながぐつはいてるね　ドンドン
ガボガボあるこうね　ドンドン
どろんこみちでもさ　ドンドン
ホラ　平気であるこうよ　ドンドン

2 ながぐつはいてるね　ドンドン
ガボガボあるこうね　ドンドン
水たまりでもさ　ドンドン
ホラ　みんなで元気よく　ドンドン